

12/25 (金) 子どもたちの未来のために 新教育委員に桃原委員が就任



教育行政の基本方針や重要事項を合議制で審議・決定する教育委員の辞令交付式が行われ、桃原修委員が就任しました。桃原委員は、「皆さんのご指導、ご鞭撻をいただきながら宜野湾市の子どもたちの未来のために、これまで培ってきた力を十分に発揮し、頑張っていきます」と述べ、知念春美教育長は、「今後も、教育委員会一丸となって頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします」と話しました。

1/8 (金) 今年1年の安全を祈願して 令和3年 宜野湾市消防出初式



令和3年宜野湾市消防出初式が市消防本部にて開催されました。式典では、県消防協会長より勤続章に松川淳也さん、仲村翔さん、永年勤続表彰に消防副団長の比嘉嗣雄さん、副団長の妻である涼子さんが内助の功で表彰されました。松川市長は、「人口が10万人を超え、隊員の増員や設備等のより一層の強化に引き続き取り組んでまいります」と挨拶しました。式典後は、隊員による火災救助訓練及び一斉放水が行われました。

1/13 (水) 長年にわたり、憲法学を研究 瑞宝中綬章の受賞を報告



市内在住の小林武さんが市役所を訪れ、教育研究功勞として瑞宝中綬章の受賞を報告しました。瑞宝中綬章とは、公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方へ国から授与される勲章で、元愛知大学教授の小林さんは、「憲法学を研究しています。これからも最後まで研究を続けていこうと思います」と話しました。

12/25 (金) 自助・共助・公助が一体として 自主防災組織認定証授与式



野嵩三区、普天間三区、新城区、真栄原区、我如古区へ自主防災組織発足にあたり、松川市長より認定証が授与されました。自主防災組織とは、災害への対応力を強化するため、「自助・共助」の精神に基づき、地域住民が自主的に防災活動を行う体制をいい、市では、組織化を積極的に推進し、その育成強化を図っています。また、今回で市内の17自治会が自主防災組織を結成しており、今後、全23区への設立を目標としています。

1/10 (日) 成人おめでとうございます 令和3年 宜野湾市成人式



令和3年の宜野湾市成人式が沖縄コンベンションセンターにて行われました。例年の市民会館から会場を移し、感染症対策を行いながらの式では、新成人の振り袖やスーツ姿が会場を彩り、懐かしい友人との再会に喜ぶ姿も見られました。新成人の紺谷更由さんは、「今の自分があるのは、母のおかげです。これからは、弱い立場の人を助けてあげられる大人になりたいと思います。」と挨拶しました。

1/15 (金) 新型コロナに関する提言 市議会より政策提言を手交



昨年12月、市議会に設置された「新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会」において、市内関係団体などから聞き取りを行い、飲食店、中小事業者、観光関連事業者、自治会、児童福祉関連施設への支援策について、市議会全員協議会による全会一致をもってまとめられた政策提言が手交されました。松川市長は、「市民並びに事業者の皆さまへ支援ができるよう、できるかぎり要望に沿って行ってまいります」と話しました。

12/23 (水) 感染症対策を行いながら、ごみを回収 ごみ回収業者へ感謝状を贈呈



新型コロナウイルス感染症の危険と隣り合わせの中、変わらずごみ収集運搬を続ける宜野湾市清掃事業協同組合（島袋鈴美香理事長）・宜野湾クリーンサービス（米須清健代表取締役）・宜野湾市シルバー人材センター（宮原薫理事長）の委託業者3社へ、感謝状とマスク・アルコールジェル・ゴム手袋・フェイスシールドの贈呈を行いました。3社それぞれであいさつを行い、これからも気を引き締めていく姿勢を語りました。

12/24 (木) 『ぎのわんハート♡プロジェクト』 県内児童養護施設へクリスマスプレゼント



『ぎのわんハート♡プロジェクト』より、県内児童養護施設へお菓子や図書カードの寄贈がありました。本プロジェクトは、2018年に引退した安室奈美恵さんが最後の舞台として宜野湾市を選んだことから、本市をファンへの聖地となるように、宜野湾市、市観光振興協会、日本郵便株式会社沖縄支社によって立ち上げ、ハートポスト事業やポストカードの販売などを行い、沖縄県の子どもの未来を応援する活動を行っています。

12/24 (木) 宜野湾市へふるさと納税を行いました 宮城大弥投手が来訪しました



本市出身で、プロ野球オリックス・バファローズで活躍する宮城大弥投手が市役所を訪れ、本市へのふるさと納税寄附金を松川市長へ手渡しました。昨年のドラフト会議での1位指名から、プロ1年目にして初勝利を挙げた宮城投手は、「今シーズンは、3試合登板で1勝を挙げることができて、いい経験と時間が経過できました。来シーズンは、もっと活躍してチームに貢献できるように頑張りますので、応援よろしくお願いします」と話しました。

12/23 (水) うちなあくちを若い世代へ 沖縄県しまくとぅば普及功労者を受賞



平成19年度より宜野湾市うちなあくち会を立ち上げ、地域における「しまくとぅば」の普及の功績が認められ、令和2年度沖縄県しまくとぅば普及功労者に與儀清子さんが受賞されました。與儀さんは、「うちなあくちを話せる人が少ないと思い、自分がわかるかぎりのうちなあくちを若い方へ伝えていきたいと、うちなあくち会を立ち上げました。これからもお手玉遊びなどを通してうちなあくちを広めていきたい」と話しました。

12/24 (木) 子どもの安全を守るために 「いかのおすしDVD」を寄贈



宜野湾警察署より市教育委員会へ「いかのおすしDVD」の寄贈がありました。例年、宜野湾地区防犯協会と共に学校や幼稚園にて行ってきた防犯講話が、新型コロナの影響により実施を見送ってしまいましたが、児童向けに教養DVDを製作し、児童の危機回避能力向上を図る目的で今回の寄贈に至りました。下地署長は、「地域の方々が安心して暮らせる地域づくりに職員一丸となって全力を尽くしてまいります」と話しました。

12/25 (金) 宜野湾市青少年育成交流事業 市内少年野球チームへ野球用品等を贈呈



横浜DeNAベイスターズ選手会からの寄附金を活用し、市内の14の少年野球チームへ野球用品等の贈呈式が行われました。例年、当寄附金を活用し、横浜市への少年野球チームの派遣、交流事業を行っていましたが、新型コロナの影響により、派遣が叶わず今回の贈呈にいたしました。宜野湾少年ライオンズの渡慶次幹さんは、「野球用品がポロポロになるまで練習をして、ベイスターズ杯で上位になれるよう頑張ります」と話しました。